



ウイトラレポート 2008年9月号

「ワイヤレス業界の巨人たち Nokia」

はじめに

今回は Nokia について調査結果を記述する。Nokia は豊富な技術者を抱えて 3GPP でも高い存在感を示してはいるが、テクノロジーリーダーとして自分たちが提唱した技術を大きく開花させたという例はあまりない。デジタル放送の DVB-H は Nokia の提案であるがまだそれほど広がっているとも思えない。

Nokia の特徴は技術よりもむしろ会社全体のマネジメントにあると思う。1980 年代から 1990 年代にかけて多角化経営から携帯電話に集中投資して短期間に携帯電話で世界のトップメーカーにのし上がった。モトローラ、エリクソン、シーメンス、アルカテル、日本勢などのたくさんの先行メーカーがいる中でどうしてのし上がっていったのか、調査したいと思ったが十分な資料を入手できておらず、この点は今後に回したい。

2007 年から 2008 年にかけては Nokia の第 2 の大変革の始まりの予感がする。Nokia はホームページ上で考え方を示すようなことはしていないので一連のニュースリリースからの想像になるが、今回はこの第 2 の大変革に焦点を当てて分析したいと思う。